



2007 年 12 月 20 日
国包地区まちづくり協議会発行

国包まちづくりニュース 1号

国包地区の

いよいよ

田園まちづくり活動が はじまりました！

● まちづくり協議会設立

国包地区まちづくり協議会は、11 月 23 日の国包町内会臨時総会において設立を承認いただき、「田園まちづくり計画」の作成をめざして活動がスタートしました。

今後は、「まちづくりニュース」で計画づくりの進捗状況やアンケート調査結果など、まちづくり活動の「いま」をお知らせしていきます。

● 第 1 回まちづくり協議会（説明会）を開催

12 月 1 日（土）国包公会堂において、「第 1 回まちづくり協議会」を開催しました。

協議会役員 9 名の他、市の開発審査課職員 2 名、まちづくりアドバイザー 2 名が参加し、「今年度の活動の進め方」、「第 1 回住民アンケート調査の内容」、「第 1 回まち歩きウォッチングと夢マップづくりの内容」などについて協議しました。

◎今年度の進め方については、4 面に掲載

その結果、第 1 回住民アンケート調査は年内に実施し、集計結果については次回（1 月 19 日開催）の協議会やまちづくりニュースで報告することになりました。

また、まち歩きウォッチングと夢マップづくりは 12 月 15 日（土）に実施しました。

◎内容等は 2 面、3 面に掲載



次回のまちづくり協議会は、**1 月 19 日（土）19:00 ～（国包公会堂）**

国包地区の
未来予想図づくり

12/15 の夢マップづくりや第 1 回住民アンケート調査結果などをもとに、「国包が将来こんなまちになったらいいな」、そのためにはどうしたらいいかななどを話し合いましょう！！

★多数ご参加ください！！

“タンケン・ハツケン・ホツトケン” を合言葉にして

まち歩きウォッチングを開催しました！

● 冬晴れの下、楽しくまち歩き

国包地区では、まちづくり協議会を設立し、田園まちづくり計画の作成をめざして活動を始めました。その活動の一環として12月15日（土）住民のみなさんと一緒にまちを歩いて、地区の課題や守っていききたい良いところなどを確認しあい、今後のまちづくりに反映させるため、「まち歩きウォッチング」を行いました。

冬晴れの空の下、4才のお子さんから70代の方まで約20名が、地図を片手に公会堂を午後1時に出発、残しておきたいところ、きれいなところ、あぶないところ、困っているところなどチェックしながら、約1時間かけて歩きました。



【地図を片手にまち歩き】

● まちづくり夢マップが完成！

ゴールの公会堂では、まちづくりワークショップとして、まち歩きで気づいた点を話し合い、「まちづくり夢マップ」作りを行いました。ワークショップは、住民と行政や専門家などが対等な立場で意見を交換し、計画案を作成していく手法の一つです。

2つのグループに分かれてマップ作りを行いました。両グループとも和やかな雰囲気の中で活発な意見が出され、参加者のみなさんの国包をよくしていきたいという想いや意識の高さが感じられました。

歩いたコースをたどりながら、良いところ、気になるところなどを様々な色のシールを貼って表し、良いところとしては「山並みの景色がきれい」「由緒ある石碑がある」「小学校が近い」「お地蔵さんがきれいに管理されている」などの意見がありました。

反対に悪いところとしては、「街灯があるけど夜は暗い」「車のすれ違いができない」「コンビニが遠い」などがあがり、その他「築山神社を現状のまま美しく残したい」「火の見櫓を目印に残したい」「三木鉄道の後の有効利用」など様々な意見も書きこんで、「まちづくり夢マップ」が完成しました。その後、各グループ毎にマップを披露しながら、感想などを発表してワークショップは終わりました。

参加者からは、「楽しかった」「良いところ、悪いところが見つかった」「まちづくりに役立つと思う」などという感想がありました。



【女性や子供、高齢者など様々な世代の意見が出ました】



【まち歩き、公会堂をスタート】

初めてのまち歩きです

初めて国包駅に来ましたあ〜!!

〇〇〇



【廃線後の線路敷き利用の意見も出ました】



お堂を残したいなあ



【地区の歴史を子ども達にも伝えていきたい】



築山神社も美しく残したいなあ

【冬晴れのあたたかな陽気でした】



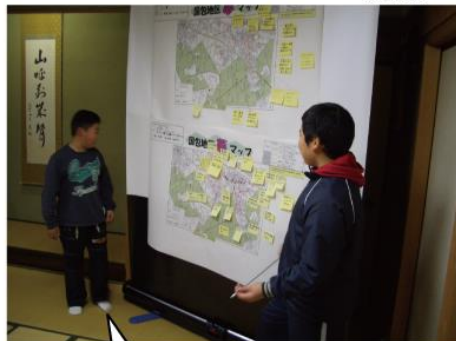
車のすれ違いが怖いなあ

【通りなれた道でも、視点を変えて】

まちあるき
ゴール

【世代を超えて、マップづくり】

子どもグループの発表「KUNI6」
シックス



学校が近くて便利！

おとなグループの発表「くに5」
ファイブ



いろいろ課題はあるけど、住みよい国包を守りたい

12月15日（土）まち歩きウォッチングと「夢マップづくり」の様子です。



● 田園まちづくり計画がなぜ必要なの？

私達の住む国包地区は加古川市の都市計画で「市街化調整区域」に指定されています。

市街化調整区域では、

①人口が減少傾向、②市街地に比べると高い高齢化率、③工場等の閉鎖や店舗等の廃業、さらに④既存宅地制度が廃止され転入者の住宅建築が困難になったなどから地域の活力が低下し、土地の弾力的な活用による活性化が必要になっています。

※市街化調整区域とは、

まちにうるおいをもたらす豊かな自然環境や農業などを守るために当分市街化を抑制する区域です。

ですから、日常生活に必要な施設や農林漁業用の家屋などを除き、原則として住宅の建築や宅地化のための開発は制限されます。



田園まちづくり制度により

- ・まちづくり協議会を組織
- ・田園まちづくり計画を作成
- ・特別指定区域の指定



地域の取り組みに必要な建築物が許可されます

● 国包地区の田園まちづくりの進め方

～地域の魅力を活かして 地域の将来像を みんなの手で～

当面のスケジュールは、以下のとおりです。みなさんの参加をお待ちしています。

